

# 令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 福井県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	県立病院	2
-	すこやかシルバー病院	3
敦賀市	市立敦賀病院	4
坂井市	坂井市立三国病院	5
越前町	国保織田病院	6
公立小浜病院組合	小浜病院	7
公立小浜病院組合	レイクヒルズ美方病院	8
公立丹南病院組合	丹南病院	9

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名					
病院名 県立病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	86,409 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	551	80.3	70.9	65.9
療養	-	-	-	-
結核	6	38.3	46.6	43.8
精神	198	65.9	69.1	69.3
感染症	4	40.3	27.5	10.5
計	759	76.0	70.1	66.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.3	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	766,863	
決算規模(千円)	535,947,139	
標準財政規模(千円)	262,208,954	
財政力指数	0.40106	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	149.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,416,955			
1 経常収益	25,835,011			
(1) 医業収益	21,358,374			
(うち修正医業収益)	20,772,752			
入院収益	15,059,355			
外来収益	5,321,496			
診療収入計	20,380,851			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	977,523			
(うち他会計負担金)	585,622			
(2) 医業外収益	4,476,637			
(うち国・都道府県補助金)	1,426,857			
(うち他会計補助・負担金)	1,549,196			
(うち長期前受金戻入)	1,288,523			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	581,944			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	25,033,170			
2 経常費用	25,033,170			
(1) 医業費用	23,519,719			
職員給与費	11,211,051	52.5	59.4	52.8
材料費	6,002,065	28.1	26.1	31.5
(うち薬品費)	3,038,140	14.2	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,807,337	13.1	11.8	13.9
減価償却費	1,701,954	8.0	8.7	7.7
経費	4,331,501	20.3	22.1	18.0
(うち委託料)	2,790,946	13.1	11.7	10.7
研究研修費	59,877			
資産減耗費	213,271			
(2) 医業外費用	1,513,451			
(うち支払利息)	327,399	1.5	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	801,841			
純損益	1,383,785			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.2		103.3	102.8
医業収支比率	90.8		85.5	90.3
修正医業収支比率	88.3		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	8.1		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	94.7		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	45,020,607
1 固定資産	26,585,163
(1) 有形固定資産	24,760,388
(2) 無形固定資産	1,377
(3) 投資その他の資産	1,823,398
2 流動資産	18,435,444
(1) 現金及び預金	13,364,358
(2) 未収金及び未収収益	4,922,368
(3) 貸倒引当金( )	4,453
(4) 貯蔵品	153,171
3 繰延資産	-
負債合計	39,237,644
1 固定負債	26,014,651
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,457,770
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,556,881
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	8,488,809
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,980,959
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	567,308
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,786,653
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,734,184
(1) 長期前受金	36,692,932
(2) 長期前受金収益化累計額( )	31,958,748
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	5,782,963
1 資本金	1,777,719
2 剰余金	4,005,244
(1) 資本剰余金	870,579
(2) 利益剰余金	3,134,665
負債・資本合計	45,020,607
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,072,367	2,134,818
資本勘定繰入	1,508,509	1,508,509
計	3,580,876	3,643,327

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名	
		福井県	
市町村・組合名			
病院名	すこやかシルバー病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,485 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	4	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	20:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	81.8	86.2	89.0
感染症	-	-	-	-
計	100	81.8	86.2	89.0
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	766,863	
決算規模(千円)	535,947,139	
標準財政規模(千円)	262,208,954	
財政力指数	0.40106	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	149.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	854,099			
1 経常収益	854,099			
(1) 医業収益	611,362			
(うち修正医業収益)	611,362			
入院収益	528,228			
外来収益	83,134			
診療収入計	611,362			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	242,737			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	203,514			
(うち長期前受金戻入)	23,874			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	765,240			
2 経常費用	765,203			
(1) 医業費用	740,116			
職員給与費	-	-	59.4	105.1
材料費	-	-	26.1	9.8
(うち薬品費)	-	-	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	1.6
減価償却費	72,992	11.9	8.7	12.8
経費	666,676	109.0	22.1	35.3
(うち委託料)	-	-	11.7	17.0
研究研修費	-			
資産減耗費	448			
(2) 医業外費用	25,087			
(うち支払利息)	21,702	3.5	1.0	2.4
(3) 特別損失	37			
損益	88,896			
純損益	88,859			
累積欠損金	-			
経常収支比率	111.6		103.3	101.8
医業収支比率	82.6		85.5	61.1
修正医業収支比率	82.6		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	23.8		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	33.3		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	23.8		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	85.0		91.9	68.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	45,020,607
1 固定資産	26,585,163
(1) 有形固定資産	24,760,388
(2) 無形固定資産	1,377
(3) 投資その他の資産	1,823,398
2 流動資産	18,435,444
(1) 現金及び預金	13,364,358
(2) 未収金及び未収収益	4,922,368
(3) 貸倒引当金( )	4,453
(4) 貯蔵品	153,171
3 繰延資産	-
負債合計	39,237,644
1 固定負債	26,014,651
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,457,770
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,556,881
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	8,488,809
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,980,959
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	567,308
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,786,653
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,734,184
(1) 長期前受金	36,692,932
(2) 長期前受金収益化累計額( )	31,958,748
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	5,782,963
1 資本金	1,777,719
2 剰余金	4,005,244
(1) 資本剰余金	870,579
(2) 利益剰余金	3,134,665
負債・資本合計	45,020,607
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	203,514	203,514
資本勘定繰入	118,185	118,185
計	321,699	321,699

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	敦賀市				
病院名	市立敦賀病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,092 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨感災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	330	63.9	69.9	69.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	2.2	51.5
計	332	63.6	69.5	69.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	13.0	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	64,264	
決算規模(千円)	43,249,863	
標準財政規模(千円)	16,864,695	
財政力指数	0.88	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,247,041			
1 経常収益	8,246,741			
(1) 医業収益	6,787,687			
(うち修正医業収益)	6,450,881			
入院収益	3,919,177			
外来収益	2,240,075			
診療収入計	6,159,252			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	628,435			
(うち他会計負担金)	336,806			
(2) 医業外収益	1,459,054			
(うち国・都道府県補助金)	577,192			
(うち他会計補助・負担金)	447,490			
(うち長期前受金戻入)	302,519			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	300			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,210,466			
2 経常費用	8,177,149			
(1) 医業費用	7,763,113			
職員給与費	4,326,014	63.7	59.4	59.0
材料費	1,487,181	21.9	26.1	25.6
(うち薬品費)	660,843	9.7	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	818,076	12.1	11.8	11.2
減価償却費	464,410	6.8	8.7	8.6
経費	1,425,977	21.0	22.1	21.3
(うち委託料)	695,563	10.2	11.7	11.6
研究研修費	32,723			
資産減耗費	26,808			
(2) 医業外費用	414,036			
(うち支払利息)	48,616	0.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	33,317			
損益	69,592			
純損益	36,575			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.9		103.3	104.8
医業収支比率	87.4		85.5	87.0
修正医業収支比率	83.1		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.6		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	9.5		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	91.3		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,618,818
1 固定資産	7,159,664
(1) 有形固定資産	6,532,310
(2) 無形固定資産	370,248
(3) 投資その他の資産	257,106
2 流動資産	5,459,154
(1) 現金及び預金	3,839,397
(2) 未収金及び未収収益	1,605,034
(3) 貸倒引当金( )	7,535
(4) 貯蔵品	22,258
3 繰延資産	-
負債合計	8,784,018
1 固定負債	4,134,982
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,408,764
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,692,353
(7) 一ス債務	33,765
2 流動負債	1,182,804
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	470,152
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	237,288
(6) リ一ス債務	23,377
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	427,429
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,466,232
(1) 長期前受金	11,271,606
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,805,374
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,834,800
1 資本金	2,433,060
2 剰余金	1,401,740
(1) 資本金剰余金	144,226
(2) 利益剰余金	1,257,514
負債・資本合計	12,618,818
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	754,476	784,296
資本勘定繰入	286,726	286,726
計	1,041,202	1,071,022

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	坂井市				
病院名	坂井市立三国病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,291 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	105	69.1	77.3	79.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	69.1	77.3	79.4
平均在院日数(一般病床のみ)		23.7	26.2	25.1

設立団体の状況		
人口(人)	88,481	
決算規模(千円)	46,256,167	
標準財政規模(千円)	23,742,959	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	31.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,595,969			
1 経常収益	2,595,969			
(1) 医業収益	1,793,440			
(うち修正医業収益)	1,711,302			
入院収益	939,502			
外来収益	671,757			
診療収入計	1,611,259			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	182,181			
(うち他会計負担金)	82,138			
(2) 医業外収益	802,529			
(うち国・都道府県補助金)	433,725			
(うち他会計補助・負担金)	318,862			
(うち長期前受金戻入)	16,171			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,223,576			
2 経常費用	2,223,058			
(1) 医業費用	2,102,553			
職員給与費	1,215,127	67.8	59.4	67.0
材料費	250,079	13.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	114,478	6.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	111,769	6.2	11.8	9.4
減価償却費	188,644	10.5	8.7	10.2
経費	446,919	24.9	22.1	28.8
(うち委託料)	226,073	12.6	11.7	13.2
研究研修費	1,744			
資産減耗費	40			
(2) 医業外費用	120,505			
(うち支払利息)	38,982	2.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	518			
損益	372,911			
純損益	372,393			
累積欠損金	1,970,215			
経常収支比率	116.8		103.3	104.5
医業収支比率	85.3		85.5	80.1
修正医業収支比率	81.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	22.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	98.7		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,575,073
1 固定資産	2,531,754
(1) 有形固定資産	2,508,750
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	23,004
2 流動資産	1,043,319
(1) 現金及び預金	648,860
(2) 未収金及び未収収益	390,078
(3) 貸倒引当金( )	1,785
(4) 貯蔵品	6,166
3 繰延資産	-
負債合計	2,194,050
1 固定負債	1,691,857
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,691,857
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	400,123
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	232,661
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,346
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	102,787
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	102,070
(1) 長期前受金	158,182
(2) 長期前受金収益化累計額( )	56,112
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,381,023
1 資本金	3,351,238
2 剰余金	-1,970,215
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,970,215
負債・資本合計	3,575,073
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	321,000	401,000
資本勘定繰入	99,000	99,000
計	420,000	500,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	109.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	越前町				
病院名	国保織田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,216 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	55	76.5	81.9	86.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	76.5	81.9	86.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	15.2	13.0

設立団体の状況		
人口(人)	20,118	
決算規模(千円)	14,255,949	
標準財政規模(千円)	7,874,348	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	2.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	205,850			
1 経常収益	205,850			
(1) 医業収益	36,294			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	36,294			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	169,556			
(うち国・都道府県補助金)	1,182			
(うち他会計補助・負担金)	95,116			
(うち長期前受金戻入)	23,253			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	203,906			
2 経常費用	203,906			
(1) 医業費用	146,294			
職員給与費	-	-	59.4	76.5
材料費	-	-	26.1	14.9
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.4
減価償却費	97,963	269.9	8.7	11.5
経費	46,756	128.8	22.1	32.6
(うち委託料)	2,977	8.2	11.7	14.8
研究研修費	-			
資産減耗費	1,575			
(2) 医業外費用	57,612			
(うち支払利息)	7,612	21.0	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	1,944			
純損益	1,944			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.0		103.3	101.5
医業収支比率	24.8		85.5	73.2
修正医業収支比率	-		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	63.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	362.1		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	63.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	36.5		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,487,663
1 固定資産	1,229,001
(1) 有形固定資産	1,228,894
(2) 無形固定資産	107
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	258,662
(1) 現金及び預金	256,536
(2) 未収金及び未収収益	2,246
(3) 貸倒引当金( )	120
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	848,756
1 固定負債	372,136
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	372,136
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	115,769
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,581
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,188
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	360,851
(1) 長期前受金	524,447
(2) 長期前受金収益化累計額( )	163,596
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	638,907
1 資本金	329,311
2 剰余金	309,596
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	309,596
負債・資本合計	1,487,663
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	124,428	131,410
資本勘定繰入	57,369	13,224
計	181,797	144,634

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	公立小浜病院組合				
病院名	小浜病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ 訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	32,339 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨 感へ 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	296	73.7	73.4	72.7
療養	50	63.0	68.4	79.0
結核	8	4.8	0.8	3.6
精神	100	73.4	74.9	75.9
感染症	2	100.0	100.0	83.3
計	456	71.3	72.0	73.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	15.9	15.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,872,761			
1 経常収益	9,872,761			
(1) 医業収益	7,381,679			
(うち修正医業収益)	7,167,374			
入院収益	4,693,319			
外来収益	2,208,329			
診療収入計	6,901,648			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	480,031			
(うち他会計負担金)	214,305			
(2) 医業外収益	2,491,082			
(うち国・都道府県補助金)	736,529			
(うち他会計補助・負担金)	653,250			
(うち長期前受金戻入)	132,827			
(うち資本費繰入収益)	231,214			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,499,595			
2 経常費用	9,499,595			
(1) 医業費用	8,228,214			
職員給与費	4,187,467	56.7	59.4	57.2
材料費	1,655,995	22.4	26.1	28.0
(うち薬品費)	861,375	11.7	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	660,503	8.9	11.8	12.7
減価償却費	687,250	9.3	8.7	8.0
経費	1,561,966	21.2	22.1	19.0
(うち委託料)	478,975	6.5	11.7	10.0
研究研修費	97,928			
資産減耗費	37,608			
(2) 医業外費用	1,271,381			
(うち支払利息)	126,400	1.7	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	373,166			
純損益	373,166			
累積欠損金	307,481			
経常収支比率	103.9		103.3	103.2
医業収支比率	89.7		85.5	88.6
修正医業収支比率	87.1		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.8		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	8.8		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	94.8		91.9	93.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,033,941
1 固定資産	11,118,209
(1) 有形固定資産	10,824,081
(2) 無形固定資産	8,831
(3) 投資その他の資産	285,297
2 流動資産	2,915,732
(1) 現金及び預金	791,807
(2) 未収金及び未収収益	1,734,622
(3) 貸倒引当金( )	349
(4) 貯蔵品	32,813
3 繰延資産	-
負債合計	11,267,714
1 固定負債	6,914,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,908,666
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	5,891
2 流動負債	2,353,878
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	850,182
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	355,020
(6) リ一ス債務	3,366
(7) 一時借入金	434,000
(8) 未払金及び未払費用	665,605
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,999,279
(1) 長期前受金	3,671,420
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,672,141
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,766,227
1 資本金	3,149,145
2 剰余金	-382,918
(1) 資本金剰余金	404,414
(2) 利益剰余金	-787,332
負債・資本合計	14,033,941
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	873,034	867,555
資本勘定繰入	426,808	232,897
計	1,299,842	1,100,452

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	公立小浜病院組合				
病院名	レイクヒルズ美方病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	13,137 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	42	71.2	75.1	76.0
療養	58	79.2	83.6	87.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	75.9	80.0	82.9
平均在院日数(一般病床のみ)		22.8	22.8	28.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,094,245			
1 経常収益	1,094,245			
(1) 医業収益	727,934			
(うち修正医業収益)	727,934			
入院収益	565,872			
外来収益	140,172			
診療収入計	706,044			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	21,890			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	366,311			
(うち国・都道府県補助金)	3,307			
(うち他会計補助・負担金)	268,364			
(うち長期前受金戻入)	16,235			
(うち資本費繰入収益)	73,568			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,029,094			
2 経常費用	1,029,094			
(1) 医業費用	978,366			
職員給与費	603,212	82.9	59.4	67.0
材料費	86,894	11.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	52,856	7.3	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,037	4.1	11.8	9.4
減価償却費	38,460	5.3	8.7	10.2
経費	241,622	33.2	22.1	28.8
(うち委託料)	113,950	15.7	11.7	13.2
研究研修費	894			
資産減耗費	7,284			
(2) 医業外費用	50,728			
(うち支払利息)	19,612	2.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	65,151			
純損益	65,151			
累積欠損金	780,513			
経常収支比率	106.3		103.3	104.5
医業収支比率	74.4		85.5	80.1
修正医業収支比率	74.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	24.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	36.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	24.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	80.3		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,033,941
1 固定資産	11,118,209
(1) 有形固定資産	10,824,081
(2) 無形固定資産	8,831
(3) 投資その他の資産	285,297
2 流動資産	2,915,732
(1) 現金及び預金	791,807
(2) 未収金及び未収収益	1,734,622
(3) 貸倒引当金( )	349
(4) 貯蔵品	32,813
3 繰延資産	-
負債合計	11,267,714
1 固定負債	6,914,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,908,666
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	5,891
2 流動負債	2,353,878
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	850,182
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	355,020
(6) リ一ス債務	3,366
(7) 一時借入金	434,000
(8) 未払金及び未払費用	665,605
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,999,279
(1) 長期前受金	3,671,420
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,672,141
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,766,227
1 資本金	3,149,145
2 剰余金	-382,918
(1) 資本剰余金	404,414
(2) 利益剰余金	-787,332
負債・資本合計	14,033,941
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	261,954	268,364
資本勘定繰入	52,645	77,168
計	314,599	345,532

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名	公立丹南病院組合				
病院名	丹南病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	15,070 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	175	64.8	66.1	62.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	179	63.3	64.6	60.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.1	11.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	333,077			
1 経常収益	333,066			
(1) 医業収益	173,288			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	173,288			
(うち他会計負担金)	173,288			
(2) 医業外収益	159,778			
(うち国・都道府県補助金)	2,532			
(うち他会計補助・負担金)	25,696			
(うち長期前受金戻入)	125,397			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	333,075			
2 経常費用	333,075			
(1) 医業費用	318,979			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	273,004	157.5	8.7	10.2
経費	39,967	23.1	22.1	28.8
(うち委託料)	5,338	3.1	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	6,008			
(2) 医業外費用	14,096			
(うち支払利息)	9,946	5.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-9			
損益	純損益	2		
累積欠損金	2,025,309			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	54.3		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	59.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	114.8		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	59.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	40.3		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,616,773
1 固定資産	4,389,194
(1) 有形固定資産	4,389,194
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	227,579
(1) 現金及び預金	206,435
(2) 未収金及び未収収益	21,144
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,418,962
1 固定負債	796,837
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	796,837
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	276,861
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	246,926
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	29,909
(8) 未払金及び未払費用	13
(9) 前受金及び前受収益	13
3 繰延収益	1,345,264
(1) 長期前受金	2,301,541
(2) 長期前受金収益化累計額( )	956,277
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,197,811
1 資本金	746,619
2 剰余金	1,451,192
(1) 資本金剰余金	3,476,501
(2) 利益剰余金	-2,025,309
負債・資本合計	4,616,773
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	197,069	198,984
資本勘定繰入	60,955	60,955
計	258,024	259,939

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1168.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。